

会 議 録 (要点筆記)

会 議 名	第5回米原市自治基本条例推進委員会
開 催 日 時	平成25年5月13日(月) 午後3時00分～午後5時00分
開 催 場 所	米原庁舎 2A会議室
出席者および欠席者	出席者：今川会長、山本副会長、井上委員、鹿取委員、中村委員、逢阪委員(異動による交代)土居委員、安田委員、米澤委員、松宮委員、岩山委員 【事務局】要石政策監、西村政策調整課長補佐、坂主査、三輪主任、傍聴：広報秘書課 中嶋主任 欠席者：堀委員、清水委員
議 題	市と市民の情報共有について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの議論でできた3つのポイントについてまとめ、提案書としてまとめる。 ・提案書については、会長、副委員長に一任。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	<p>1 平成24年度自治基本条例推進検討チームで作成した「情報管理ツールの活用 きほんのき」の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは庁内の情報共有をしっかりと、外部への情報発信を次のステップとして順次進めていくこと。 <p>2 前回の推進委員会での議論の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで「情報の共有」をテーマに議論いただき、3つのポイントに集約できる。 <ul style="list-style-type: none"> ①区(自治会)における広報誌の発行の推進 ②問題的型広報の推進 ③情報モニター制度の導入 ・3つのポイントで提案書をまとめていくために、さらにアイデアや手法について議論を進める。 <p>[意見交換、感想・質問等]</p> <p>①区(自治会)における広報誌の発行の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行している自治会から、区報発行のメリットを伝えていただく ・市の広報誌での紹介などもこれまで意見に出たが、伊吹山テレビでも取り上げてはどうか。区での取組の紹介として。

・区報を出したい自治会が多い。しかし人材とスキルが無い場合が多い。区報をつくるための研修等が必要では。

・先進的な地域の発表と、作成講座を一緒にやってはどうか。

・資金面、技術面での何らかのバックアップが必要。

・区報コンクールや市広報での特集だけでなく、ZTVなど他の色々なチャンネルを使って区報の啓発を行うことと、やりたくてもできない人を対象に、区報発行している自治会を講師とした技術的な研修会を開くということでもとめます。

②問題提起型広報の推進について

・今の広報は大変読みやすくなってきている。市民の意見を受け取る仕組みはできているか？

・問題提起型とまでは言っていないかもしれないが、結果だけではなく、経過も段階的に出していくようにしている。

・無料観覧券みたいに、切り取って目安箱などに投函する等、意見を出しやすくしてはどうか？

・市長への手紙はやっておられるがその先がわからない。

・購読している雑誌には、返信用の無料ハガキがついている。偉いと思うのは、届いた意見に編集部がコメントしたものを掲載していること。双方向性があるといい。

・意見を頂いた人の中から抽選でなにかプレゼントがあってもいい甘い汁も必要。

・良かった記事、悪かった記事なども聞いてみてはどうか？

・市の課題というのも見えてくるし、市民の欲しているものが何かということもわかる。

・アイデアレベルの気軽に言える機会を作る。あまり構えなくてよいもの。

・アイデアコンテストや、小・中学校を対象を広げて。

・子ども向きの広報はいいアイデア。年に1回あってもいい。

・こども向け広報誌への取組と、紙媒体の活性化に対するアンケートを盛り込むということでもとめます。

③情報モニター制度の導入について

・パブコメの件数は少ない。モニターなら言わなければならないとなる。委嘱状渡して、責任を持ってもらい、期間を決めて半強制的

	<p>に意見を求めていかないと動かない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人選には、年代、職業柄も考慮する必要があるのでは。 ・全国的にみてモニター制度は、低迷状況にある。 ・啓発の意味も兼ねて、ワークショップやイベントを行いモニターに集まってもらうことがあっても良い。 ・情報モニターは委嘱するということ、委嘱の仕方については各自治会の広報担当者や職種も考慮していくということ、それと情報モニター以外にも意見を聞けるようなワークショップを開くという点を入れていく。 <p>全体を通じて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫して情報を出しても、見てもらえないということもある。受け取り手の意識を高めることも必要。また、発信の時に巻き込むことを意識していくこと。 ・自治意識を高めるということを幅広くやっていく必要がある。 ・企画からプロセスをガラス張りにすることが大事。結果だけを提示されても、関心を持つことはできない。 <p>会長あいさつ</p> <p>自治基本条例を策定し、毎年、推進状況を委員会で確認しているような自治体は、米原市以外に無い。事務局には真摯に対応していただき感謝している。委員の皆さんにおかれても、今後の各方面でのご活躍を期待している。</p>
--	--

会議の公開・非公開の別	<p>■公開 <u>傍聴者： 1人</u></p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>一部公開または非公開とした理由 ()</p>
会議録の開示・非開示の別	<p>■開示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示(根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/>非開示(根拠法令等：)</p>
全部記録の有無	<p>会議の全部記録 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>録音テープ記録 <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</p>
担当課	政策調整課 (内線91-244)